

## 環境研究センター拡充事業



本事業により導入された水質検査機器

## 借款概要

承諾額/実行額	1,101百万円/1,038百万円
借款契約調印	1991年9月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1997年10月

## 事業概要

18の環境研究センター（ESC）に対して、人材育成の支援や、教育・研究活動に必要な設備を充実させることにより、中央・地方レベルにおける環境問題解決のための技術水準を向上させるもの。

## 評価結果

効率的・効果的な研究活動を支えるためには、研究室・実験機器類・文献等の整備により「研究環境づくり」を行うことが肝要である。本事業により整備された18の環境研究センターの研究者・学生によると、この「環境」が向上し、また、このような環境で活動する人材の能力・資質についても国内外研修プログラムによりレベルアップされたと評価されている。実際、スラバヤ工科大学のESCでは環境関連セミナーの開催を通じた広報活動が、またハサヌディン大学のESCでは貧困層を対象とした環境改善プログラムが展開されており、本事業の効果の事例といえよう。

本事業により調達された実験機器類は現在も使用可能であるが、研究活動の効率・効果を維持するためには適宜更新される必要がある。しかし、中央政府から各大学に対しての予算配分が不十分であるところ、政府による十分な予算配分と共に、各大学・環境研究センターの自律的な予算獲得手段の促進も、研究活動を維持向上する上で有効と思われる。